

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

研究課題名	多職種連携教育プログラムにおける学生の学習効果の検討ーキャラ化ワークショップを用いたIPEの実践ー
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 医学教育学 西川 正志
研究期間	研究実施許可日 ～ 2027 年 03 月 31 日
対象者	本学の2025年度「医療プロフェッショナリズムⅡ」における北陸大学との多職種連携ワークショップを受講した学生
当該研究の意義・目的	本研究は、多職種連携教育において「説明する側」として参加する他職種学生の教育的意義に着目した点に特徴がある。従来の多職種連携教育は交流や見学が中心となることが多いが、本プログラムでは他職種学生が自職種の専門性を言語化し説明する役割を担うことで、学習者としてだけでなく教育的主体として関わる機会を提供している。このような学習経験は、自職種の理解を深化させるとともに専門職アイデンティティの形成を促進する可能性がある。また、医学生にとっても他職種との対話を通じた理解促進に寄与することが期待される。さらに、本研究は複数の医療専門職学生が参加する多職種連携教育の実践とその評価を通じて、今後の多職種連携教育の設計および改善に資する知見を提供する点において意義を有する。 本研究は、医学部における多職種連携教育プログラムにおいて、医学生が質問者、他職種学生が応答者として参加するキャラ化ワークショップにて実施された評価アンケート（無記名）を用いて、その教育効果を検討することを目的とする。特に、実習経験を有する薬学生が説明役として参加することによる教育効果に着目し、薬学生における自職種の再認識および専門職アイデンティティ形成への影響を明らかにする。また、医学生における他職種理解の変化についても併せて検討する。
方法および研究で利用する情報の取得方法	多職種連携能力に関する自己評価アンケートを収集し、得られたデータからプログラム前後での変化を解析します。また、今回のワークショップを経験して得られた学びや気づきの自由記述を解析します。これらの解析により、本教育プログラムが学生に対してどのような影響を与えたのかを考察し、このプログラムの効果を評価するために使用させていただきます。 研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する外部への試料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がな

究対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	い範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧くださいことができますのでお申し出下さい。今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学医学教育学 西川 正志 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211 内線（25263）

作成日：2026年8月31日